

フィリピン
台風被害

A M D A 調整員派遣

国際医療NGO「AMD
A（アムダ）」は、台風30

号で大きな被害を受けたフィリピンへの支援第2陣として、支援受け入れなどの準備にあたる調整員2人を現地に派遣することを決め、13日、大政朋子さん(41)が岡山を出発した。

大政さんは東日本大震災発生直後から岩手、宮城両県の三陸海岸沿岸部で活動。病院への医師、看護師の派遣や、復興支援イベントの企画などを行っている。

大政さんは大阪で、ニテイアン・ヴィーラヴァーグ・AMD A緊急救援担当課長と合流し、14日午後にも二ラに到着予定。軍など関係機関と必要な支援について協議する。大政さんの活動期間は今月末までを予定

フィリピンへ向けて出発する
大政さん（JR岡山駅で）



している。

12日まで宮城県石巻市で活動していた大政さんは「東北の人々もフィリピンのことを心配していて、出発する時に激励された」とし、「救援物資が行き渡れば、略奪や混乱も収まるはず。現地では輸送ルートの確保が重要だ」と話した。